

いみず

笑顔が
つながる

未来に
つながる

想いが
つながる

魅力が
つながる

人と人が
つながる



つながるまち射水になるよう

笑顔

未来

想い

魅力

人と人

がつながる活動を行います！

【地域共生社会 共に生きる】をテーマに「射水市がどんなまちになったらよいか」について毎号、関連ある方々に想いを書いていただきます。

今回は、災害ボランティアで活躍していただきました、射水青年会議所の皆さんです。

お問い合わせはこちらまで

【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

 社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0351 射水市戸破4200番地11 救急薬品市民交流プラザ2階
総務課 ☎55-5201

〈E-mail〉 honsho@imizushakyo.jp
〈ホームページ〉 <http://www.imizushakyo.jp/>



特集

災害ボランティアでつながる力

P2

大島地域包括支援センター開所

P4

SHOW商福連携

P5

すてっぷからのお知らせ

P6

令和6年度 事業計画・予算

P7

社協からのお知らせ

P8

この広報紙は、一部共同募金の助成を受けています。



特集

～誰かのために自分ができること～ 災害ボランティアでつながる力

—— 災害ボランティアセンターを紹介します ——



土のう運搬



災害ゴミ仮置場



壊れたタンスの解体・運び出し

各種団体の組織力と ボランティアをつなぐ 社会福祉協議会

令和6年1月1日、能登半島地震が発生し、市内でも震度5強を観測しました。

津波警報が発表され、多くの市民が高台へ避難し、各地でブロック塀などの倒壊や液状化による道路損壊・建物損壊などの被害が発生しました。

平常時の生活に戻るには、ボランティアによる支援活動が大きな力となります。行政・社会福祉協議会・災害ボランティアの協働も欠かせません。

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する事業を行っている社会福祉法人（民間非営利団体）です。普段は皆さんが安心して暮らせるように、心配ごと相談のほか、各種福祉相談などを行っています。災害時にはいち早い復旧復興の支援を目指し、災害ボランティアセンターを立ち上げます。日ごろから築いている地域とのつながりを活かして、被災者の困りごとなどの情報を集め、現地での活動を希望するボランティアを調整・派遣して災害ボランティア活動の支援を行います。今回は、射水市災害ボランティアセンターの活動や実際に活動された方についてご紹介します。

自宅の一部が液状化で半壊し、そのままでは住み続けることが難しい状態になったのですが、やはり長年過ごした自宅で生活していきたいと考えていました。

自分や家族だけではどうすることもできず、悩んでいた時に、災害ボランティアセンターのことを自治会長さんから教えてもらいました。



吉江さん

10人程度のボランティアの方に泥出しをしてもらいとても助かりました。心の重荷がおり非常に感謝しています。ボランティアの方以外にも近所の方も協力して一緒にやってもらったのがすごく嬉しかったです。

ボランティアを
依頼した方の

声

協定団体の受援力

じゅ えん りょく

公益社団法人
射水青年会議所 (JC)



地域活性化委員会
二口委員長

田仲理事長

倉谷専務理事

今回の災害ボランティア活動において、中心になっていただきました。協定を結んでいるJCの方の声です。

射水市ボランティアセンターの活動では、人的支援を中心に必要な情報を射水市社会福祉協議会（社協）と共有しながら、現地調査やがれきの撤去、泥出しなどを行いました。

社協や市など公的な機関と事前に災害協定を結んでいたからこそ、迅速な対応が出来たと感じます。JCのネットワークの強さと横と縦のつながりの強さや絆が、今回の震災ではとても役に立ったと感じます。

今回の震災は、災害を考えるよい機会となり、改めて日頃のつながりの重要性を感じます。普段のつながりが、いざという時の活動に結びつきます。災害時は、一人ひとりの力や気持ちは集まることでとても大きな力になることも伝えたいです。

● 災害ボランティアセンターの流れ ●

1 ニーズ受付

被災者からの困りごとなどの依頼を受け付けます。状況を確認する為、現地調査を行います。



2 災害ボランティア受付

当日参加する災害ボランティアの受付を行い、万に備え、災害ボランティア保険の加入手続きを行います。



3 マッチング

被災者からの依頼内容を聞き、活動内容ごとにボランティアの調整を行います。



4 オリエンテーション

活動場所の案内や、注意点などをお伝えするため、オリエンテーションを行います。



5 資材の貸出・送迎

災害ボランティア活動に必要な資材の貸出しを行います。



6 被災地での活動

液状化によって被害を受けた地域の泥出し作業をしている様子です。



床下が液状化した被災者宅の泥出しをしている様子です。被災者に寄り添う気持ちを大切にしながらボランティア活動を行います。



7 活動場所での巡回

活動しているボランティアで、体調不良の方がいないか巡回し、定期的に水分補給と休憩を呼びかけます。



8 報告活動

ボランティアから活動内容を報告してもらい、活動を振り返ります。



災害ボランティアセンターの実績（令和6年1月31日現在）

ボランティア登録人数	392名 (12団体含む)
活動件数	14件 (別途、社協職員対応分7件)
活動人数	延べ 243名
災害ボランティア活動	- ブロック塀の撤去 - 液状化で泥が溜まった側溝の泥出し - 土のうの運搬 - 壊れたタンスの解体、運び出し - 倒れた本棚の復旧 - 屋内に散乱した家財道具、物の片付け - 傾いた照明器具の取り付け - 灯油ホームタンクの復旧
ニーズ受付	87件

災害ボランティア活動を行っている学生さんをクローズアップし、毎号シリーズとして学生さんの想いや気持ちを伝えます。

1

災害ボランティア活動に参加したきっかけ

東日本大震災が発生した当時はまだ小学校低学年でボランティアに参加したくてもできず、申し訳ない気持ちとやるせない気持ちを感じたのを覚えています。そのため今回地震が発生し住宅への被害が多数あるという情報を聞き、少しでも何かできたらという思いで参加させていただきました。

2

実際に活動してどうだったか

「私の知っている地域でまさかこんなことが起こるなんて..」と驚きを隠せませんでした。ボランティア活動が終わった後、現地の方から感謝の言葉をいただき、参加して良かったと心から思いました。自分のところは被害がないからと何もしないのではなく、もし自分の地域でおこった時、周りの人にどうして欲しいか、それを考えることが大切だと感じました。

3

同世代へのメッセージ

今回ボランティアに参加させていただき感じたことは、若い人の力が足りていないということです。参加されていた方々のほとんどは私より年上の方でした。こういった力仕事はやはり若い人の力が必要だと思います。もし、自分の住んでいる地域に大災害が起きた時、今のあなたは助けを求めただけの人になっていないか。持ちつ持たれつな関係を作れているか。誰か行くからと他人任せになっていないか。それを十分に考えて欲しいと思います。無駄なんてことはないです。必ず何かできることはあります。

新学生 プロジェクト

さの りくと
佐野 陸人さん
(22歳)

今回は、射水市災害ボランティアセンターに登録し、液状化に伴う泥出しのボランティア活動を行った佐野さんにお話を伺いました。



オリエンテーションを聞く佐野さん（前列右側）

大島地域包括支援センター開所

令和6年4月、「大島地域包括支援センター」を開所しました。

「大島地域包括支援センター」は、高齢者とそのご家族が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活が続けられるように支援する総合相談窓口です。

介護・福祉・健康・医療などの様々な視点から
関係機関と連携し、「チーム」として高齢者を支えます。



私たち専門職がご相談にお応えします

- ▶ 保健師・看護師 ▶ 社会福祉士
- ▶ 主任介護支援専門員
- ▶ 認知症地域支援推進員
- ▶ 生活支援コーディネーター
- ▶ 介護支援専門員

一人で抱え込まず
お気軽に
ご相談ください

場 所 射水市小島700番地1
(大島コミュニティセンター内)

電 話 0766-52-8050

営業日 月～金曜日(土日祝日は要相談)

営業時間 9:00～17:00

担当地区 大島地区

放生若狭屋 (ほうじょうわかさや)

〒934-0005 富山県射水市善光寺16-5

TEL0766-84-0844

営業時間／9:00-19:00 定休日／年中無休

HP <https://houjou-wakasaya.jp>



主な取組

- 通常の活動
福祉施設でのお菓子の配布
- 震災を受けての活動
避難所での炊き出しや
かりんとう饅頭の配布
寄附付き商品の販売
募金箱の設置

SHOW 商 福 連携

ハートイ 行く!



商業と福祉の連携として、射水市を拠点に活動している企業や団体の様々な福祉に関する取組みや社会貢献活動(SDGs)などを紹介します!



どんな活動をしていますか。

震災前は、福祉施設へお菓子の配布を行っていました。

震災後は、避難所で炊き出しやかりんとう饅頭の配布を行ったり、店頭で寄附付き商品の販売や募金箱設置を行っています。



板谷社長



珠洲の塩

社会貢献活動を通じて、 ポリシーなど教えてください



どんなことでも自分ができることをすることです。

能登産の素材を使うことが一番貢献していく一歩だと考えています。

お菓子を通じて、支援を継続的に行っていきたいと考えています。現地の素材を発信していくことが能登のことを思い出すきっかけや活動を知るひとつだと思います。



能登での活動の様子

今後はどのようなことに 取り組んでいきたいですか。



実際に被災地で活動し、現地を見てきた中で、まだまだ復興まで時間がかかることを強く感じました。今後も避難所での炊き出しやお菓子配布によって、多くの人に、笑顔と元気を届けたいと感じました。長いスパンで支援していきたいと思っています。



取材を通じ、板谷社長の復興支援にとっても熱い想い♡を感じました。ぜひ、みなさんもお菓子を通じて支援の輪を広げて下さいね。放生若狭屋様から読者のみなさまへプレゼントをいただきました。[詳しくはP8へ]

ちよこっ
豆 知 識



寄附付き商品 とは

寄附付き商品とは商品の売上のうち何%かを社会貢献や環境保護活動などの支援にあてられる商品をいいます。直接商品を購入して寄附するものや、寄附型自動販売機といって自動販売機で販売した売上を非営利団体などに寄附できる仕組みの自動販売機もあります。

寄附付き商品の購入や寄附型自動販売機で購入する、または街角や店舗に設置し寄附を集めるという取り組みが、そのまま社会貢献につながります。

市内では、「キッズポートいみず (旧大門庁舎)」には子ども食堂を応援するものや、小杉にある「太閤の湯」には犬猫保護の活動を支援する自動販売機が設置してあります。

5月は、「孤独・孤立対策強化月間」です



孤独・孤立対策 官民連携プラットフォーム

悩みがある方・
困っている方へ

あなたをサポートするためのさまざまな取り組みがあります。
もしも、あなたが悩みや不安を抱えて困っているときには、
すてっぷに相談してみませんか。

ひきこもり相談会

ひきこもりに関する悩みや不安などの相談に専門資格をもった相談員が対応します。
※ご予約は不要ですが、相談者多数の場合はお待ちいただくことがありますので、事前予約にご協力お願い致します。

日時 5/15(水)、6/10(月)、7/9(火)、8/6(水)
13:30~16:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

問合せ すてっぷ(☎55-5204)

すてっぷカフェ

ひきこもりなど生きづらさを抱える方が集まって自由に過ごす場所です。
※途中参加、退出自由です。



日時 5/16(木)、6/20(木)、7/18(木)、8/22(木)
13:30~15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

問合せ すてっぷ(☎55-5204)

心配ごと相談

日常生活から生じる心配ごと、悩みごとに関する相談に、民生委員・児童委員が適切な助言を行います。

小杉相談所
日時 5/7(火)、5/21(火)、6/4(火)、
6/18(火)、7/2(火)、7/16(火)
13:30~15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ
(1階ミーティングルーム)

新湊相談所
日時 5/2(木)、5/16(木)、6/6(木)、
6/20(木)、7/4(木)、7/18(木)
13:30~15:30

場所 新湊交流会館(1階研修室ほか)

問合せ 地域福祉係(☎55-5202)

すてっぷカフェ家族会

ひきこもりなど生きづらさを抱える方のご家族(両親・兄弟・親戚など)が集まって自由に過ごす場所です。
※途中参加、退出自由です。



日時 5/25(土)、6/22(土)、7/27(土)、8/24(土)
13:30~15:30

場所 救急薬品市民交流プラザ(別館)

問合せ すてっぷ(☎55-5204)

ひとりで悩まず
一度ご相談ください

相談・参加 無料

秘密 厳守

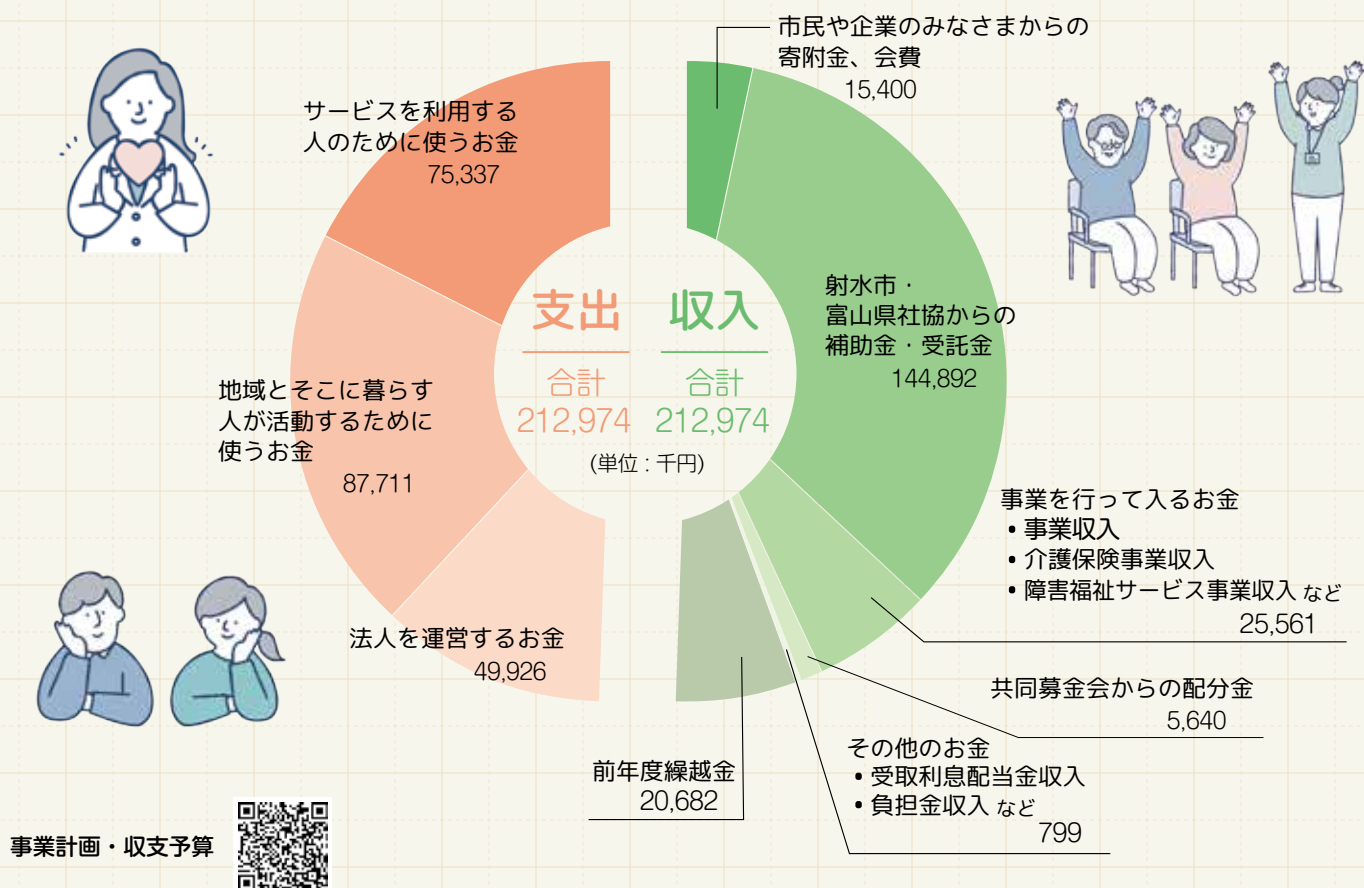
相談・問合せ先

射水市ふくし総合相談センターすてっぷ
☎55-5203
☎55-5204(ひきこもり相談専用ダイヤル)
E-mai: step@imizushakyo.jp



令和6年度 社協の予算と取組

射水市社会福祉協議会では、「いみず地域共生プラン」に基づき、「みんながつながり支え合う 笑顔でいきいき暮らせるまち 射水」を基本理念におき、地域のみなさまとともに職員一丸となって地域福祉を推進していきます。



重点取組

1 地区社会福祉協議会の活動支援

地域のニーズに合った地域福祉活動を推進していくため、地区社会福祉協議会が活動しやすいよう支援します。
また福祉人材の発掘・育成、生活課題の早期発見や課題に対して、ともに取組み地区社会福祉協議会の活性化を図ります。

2 包括的な相談支援体制の機能強化

多様化したニーズや複合的な課題を受け止め、自己決定支援、情報提供等で、課題を包括的に支援できる相談支援体制を強化します。また、制度の狭間にある福祉課題を抱える方や支援に繋がりにくい方への伴走型支援の推進を図ります。

組織全体で複合的な課題を多角的に支援できる体制を整えます。

3 幅広い世代への福祉教育の推進と実践

こどもから大人まで、様々な世代に向けて福祉への理解や関心を高める機会に触れることができるよう、福祉課題の解決に主体的に取り組む人材の育成を目指します。

4 各種団体との連携・強化

日頃から地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会及びボランティア連絡協議会など地域における各種団体と連携し、支え合える体制づくりを強化します。
あわせて、多様化・深刻化する福祉課題の把握に努めるとともに、協定団体・市民団体・行政等と連携して、体制の整備を図ります。

みんなのきもち ありがとう

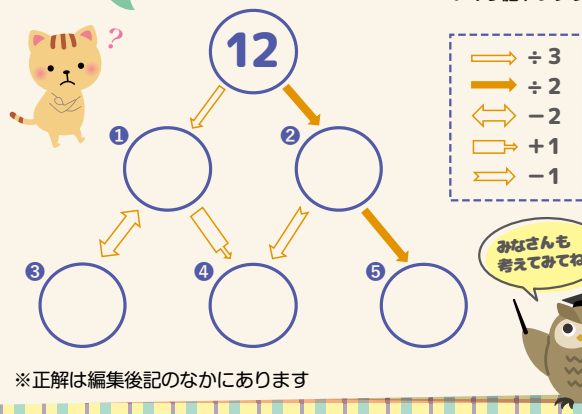
みなさまより福祉のためにご寄付いただきました。
お寄せいただいた浄財は、各種社会福祉事業に
活用させていただきます。

社会福祉事業

妙蓮寺 妙親会 15,000円
岩崎 豊久 様 タオル47本
匿名 7,024円

問題

矢印の形により数値が
変わります。
全ての○に数字を
入れてください。



※正解は編集後記のなかにあります

脳トレ
クイズ

クイズ作成
いみず脳トレクラブ

音訳ボランティア養成講座 入門コース 受講者募集

視覚障がいのある方に音声で情報を伝えるため、市の広報や図書などをCD録音する音訳ボランティア養成講座を開催します!あなたも一緒にボランティアとして活動してみませんか。

対 象／市内在住または市内勤務の方
期 間／6月28日～8月30日
毎週金曜日(全10回)
時 間／午前10時～正午
場 所／新湊交流会館 2階ホール
(射水市三日曽根9番18号 ☎82-8451)
定 員／10名
(定員になり次第締め切ります)

受 講 料／無料

申込締切／5月31日(金)

問合せ・申込先

射水市社会福祉協議会 地域福祉課
☎55-5202
E-mail c-fukushi@imizushakyo.jp



▲申込フォーム

プレゼントクイズ

QUIZ

災害時に立ちあげるのは
「災害○○○○○○センター」

ヒントは
P2に

クイズに答えて正解者の中から抽選で5名の方に
SHOW 福 で紹介しました放生若狭屋さんから

放生若狭屋オリジナル商品
富山米カステラ
プレーン5個入 詰め合わせ

をプレゼント!

ハガキ、FAX、応募フォームから下記の事項を
記載のうえ、下記までお送りください。

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
⑥本誌の感想(良かったコーナー、改善点など)

あ て 先 〒939-0351 射水市戸破4200番地11
(福)射水市社会福祉協議会
「福祉いみず プレゼントクイズ係」
FAX 0766-55-5208

応募締切 令和6年5月31日(金) 消印有効
※当選者の発表は発送をもって代えさせて
いただきます。

編集 後記

新年度は、新しい環境や出会いなど多くの新しい機会に触れることが多くなりますね。
射水市社会福祉協議会は、令和6年4月から大島地域包括支援センターを運営し
ています。地域に根付いた存在になれるよう職員一同取り組んでいきたいと思いま
す。これからも、よろしくお願いいたします。 次号 ▶ No.75 令和6年8月発行

㊦㊧ ㊨㊩ ㊪㊫ ㊬㊭ ㊮㊯ ㊰㊱ ㊲㊳ ㊴㊵ ㊶㊷ ㊸㊹ ㊺㊻ ㊼㊽ ㊾㊿ ㊿

次号の特集テーマ

ひきこもり
「孤独・孤立を
抱える人へ」